

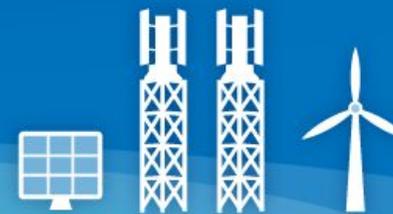
Waste Water Treatment



Comfortable household equipment



Natural Energy



2025年12月期 第1 四半期連結決算概要

2025年5月14日

2025年12月期 第1四半期連結決算概要

	2024年1Q	2025年1Q		2025年通期	
	実績	実績	前期比	予想	進捗
売上高	119.6億円	128.0億円	+7.0%	478.0億円	26.8%
営業利益	5.0億円	7.4億円	+45.5%	11.0億円	67.5%
経常利益	4.9億円	8.0億円	+62.8%	11.5億円	70.0%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2.5億円	4.5億円	+77.6%	6.5億円	69.4%

2025年1Qの状況

- 売上高
 - 主要3セグメント（環境機器、住宅機器、再生可能エネルギー）において堅調に増加
- 利益
 - 仕入価格・外注費等高騰分の販売価格への転嫁が進捗
 - 広告宣伝（認知度向上による採用強化のための各種PR施策）、地域貢献関連投資（企業版ふるさと納税の実施）
 - デジタル投資（IT活用による業務効率化、セキュリティ向上施策）

2025年12月期1Q セグメント別概要

 環境機器関連事業	2024年1Q	2025年1Q		2025年通期	
		実績	前期比	予想	進捗
売上高	62.5億円	69.2億円	+10.8%	243.2億円	28.5%
セグメント利益(営業利益)	8.4億円	9.5億円	+12.8%	19.6億円	48.6%
参考：経常利益	8.3億円	10.2億円	+23.1%		

2025年1Qの状況

- 国内売上：大型案件の進捗、価格転嫁への対応
- 海外売上：スリランカで前年同期に大型案件の計上があった影響により、グループ全体の海外売上高は前期比減
- ストックビジネス：排水処理施設及び地下水飲料化事業におけるメンテナンスは堅調に推移、メンテナンス契約更改時には価格改訂も実施

参考情報

- 海外の状況【グループ決算への取り込みは3ヶ月遅れであり、2025年12月期1Qに取り込んでいる海外数値は2024年10月～2024年12月】
 - インド：営業人員の採用教育強化、展示会出展等、成長投資を実施。製造効率化や製造フローの見直しも適宜実施
 - インドネシア：現地大学との共同研究、政府との認証基準値策定等を進めている
- 仕入価格等の上昇
 - 建築材料等の仕入価格や外注費の値上がり継続中。原価試算に当たって単価見直しを細やかにする等の対応を進めている

2025年12月期1Q セグメント別概要

 住宅機器関連事業	2024年1Q	2025年1Q		2025年通期	
		実績	前期比	予想	進捗
売上高	49.2億円	50.7億円	+2.9%	200.0億円	25.4%
セグメント利益(営業利益)	0.4億円	2.2億円	+427.4%	4.6億円	48.3%
参考：経常利益	0.6億円	2.4億円	+283.0%		

2025年1Qの状況

- 売上(卸売) : 新設住宅着工戸数の減少によって、売上高も前期比減
仕入価格高騰に伴う販売価格への転嫁が着実に進むとともに、消費者が「高価格帯商品」を選択する傾向も出てきており、利益率高まる
- 売上(工事) : 外壁工事及び農業温室工事は、前期に大型案件計上の影響により売上高減少
冷凍冷蔵・空調設備工事は、東日本エリアへの展開や前期末受注残の完成により売上高は大きく増加
- セグメント利益：仕入価格高騰分の販売価格への転嫁が進むとともに、大型・高利益率案件の工事が進捗し、利益額・利益率ともに増加

参考情報

- 木構造事業を2024年より本格化
 - 地域産材利活用方法の提案・構造設計・部材製造・販売・建て方支援などの幅広い業務を当社が請け負う
 - 2023年までは商社としての展開であったが、2024年からはメーカーとして展開を進めることで利益率の改善に貢献見込み
- 総合スマートホームサービスの取扱開始（2024年11月11日『[【ダイキアクシス×三菱地所】総合スマートホームサービス「HOMETACT」を中四国エリアで販売開始。](#)』）
 - 住宅業界の新しいインフラとして三菱地所が開発した「HOMETACT」の取扱を開始、松山本社にショールームを開設
 - 新築やリフォームを検討中のお客様へスマートホーム化という新しい付加価値の提案

2025年12月期1Q セグメント別概要

再生可能エネルギー 関連事業	2024年1Q	2025年1Q		2025年通期	
		実績	前期比	予想	進捗
売上高	6.3億円	6.6億円	+3.8%	29.0億円	22.9%
セグメント利益(営業利益)	0.1億円	0.1億円	△3.1%	1.8億円	8.2%
参考：経常利益	0.0億円	0.0億円	+562.1%		

2025年1Qの状況

- 太陽光：太陽光発電事業における売電売上高（FIT及びPPAによる売上高合計）は堅調に増加
- 小形風力：売上高は堅調に推移、FITによる売電施設は現在31サイト稼働中
- バイオディーゼル燃料：軽油に当社製品を5%混合したB5軽油の契約数は堅調に推移

参考情報

- 太陽光：買収した子会社を中心とした顧客ニーズへの対応（PPAモデル、施設販売）
 - FIT施設：商業施設店舗屋根置き129サイトを中心に、全189サイトが稼働中
 - PPA施設：大口電力需要家向けに、自社所有の施設からの売電を2023年3月より開始、現在は35サイト稼働中
- 小形風力：FITによる売電施設、31サイト稼働中
- バイオディーゼル燃料：製造プラントのある愛媛だけでなく、需要の多い関東地方での事業展開を開始
 （2024年5月14日『[BDFの安定供給を関東地方でも開始](#)』、2024年12月3日『[セブン-イレブン店舗への配送車両にバイオ燃料供給](#)（茨城牛久エリア）』）
 また、関東地方にある取引先敷地内に専用の自社精製プラントを建設、直接BDFを供給するための体制を整備中

2025年12月期1Q セグメント別概要

その他 (家庭用飲料水事業・ ベンチャーキャピタル事業)	2024年1Q	2025年1Q		2025年通期	
		実績	前期比	予想	進捗
売上高	1.4億円	1.3億円	△3.8%	5.8億円	24.0%
セグメント利益(営業利益)	0.0億円	△0.2億円	－%	△0.1億円	－%
参考：経常利益	0.1億円	△0.4億円	－%		

2025年1Qの状況

- 家庭用飲料水事業：2024年6月に、株式会社ナックと開発した全自動型ウォーターサーバー「アクシスウォーター」の取り扱いを開始
 ボトル型及び従来取り扱いの全自動型ウォーターサーバーから、新製品であるアクシスウォーターへ販売・契約を移行中
 新製品の拡販に伴う初期費用等の影響により利益減少
- ベンチャーキャピタル事業：ファンドを組成し、環境課題に向き合うスタートアップ企業等への投資を実施中

参考情報

- アクシスウォーター：廃プラスチックの問題等を勘案し、ボトル型ウォーターサーバーから全自動型ウォーターサーバーへの移行を展開する中で、
 利用者の皆さまからの声を製品の改善や新モデルへの反映に漏れなくスピード感をもって進めることを目的として、
 当社が企画し、宅配水事業などを営む株式会社ナックとともに開発
 (2024年6月5日『[新しいお水がここに誕生。全自動型ウォーターサーバー「アクシスウォーター」](#)』)
 アクシスウォーターはサブスクモデルであることから、ストックビジネスとして企業基盤の強化に貢献
- ベンチャーキャピタル事業：2号ファンド(DAVPベンチャーTF for SUSTECH投資事業有限責任組合)を2025年1月に組成
 1号ファンド(DAVPベンチャー1号投資事業有限責任組合)と合わせて計13社への投資を実施中